

『青少年安心・安全ネットづくりセミナー』を開催 ～青少年のスマートフォンの安心・安全な利用環境整備に向けて～



セミナーで挨拶する伊丹局長

北陸総合通信局（局長 伊丹 俊八）は、平成25年10月11日（金）、ITビジネスプラザ武蔵において、北陸情報通信協議会（会長 永原 功 北陸経済連合会会長）、いしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会（座長 村井 万寿夫 金沢星稜大学人間科学部学部長・教授）及びいしかわ青少年安心ネットづくり実行委員会（委員長 池崎 正典 北陸携帯電話販売店協会会長）との共催による「青少年安心・安全ネットづくりセミナー」を開催し、教育関係者、PTA、行政機関等から82名の参加がありました。

冒頭、伊丹局長が「スマートフォンの利用が急速に増えている中、青少年が安心して安全にネットを利用できる環境を早急に実現していくためには、行政だけでなく、PTA、学校関係者、電気通信事業者等と密接に連携をとって、青少年のリテラシー向上に向けた取組を推進していくことが重要。本日の講演を通して、インターネット利用の実態、フィルタリングの有効性、また、ケータイ依存に陥らないための家庭内のルールづくりなど、具体的な事例を学んでいただきたい。」と挨拶しました。



講演する村井 万寿夫 教授

セミナーでは、いしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会の座長である村井教授が「子どもとケータイ・スマホ・インターネット ～学校・家庭・地域でどのように連携すべきか～」と題して、また、吉岡 良平 氏（(一社)モバイルコンテンツ審査・運用監視機構（EMA）事務局長）が「子どものネット利用環境の現状と対応 ～マルチデバイスによる利用と課題～」と題して、具体的な事例を紹介しながら講演され、青少年の安心して安全なインターネット利用環境の整備に向けて、新たな課題や方策などについて理解を深めました。

また、参加者からのアンケートでは、「子どもたちのネット利用の最新事情を理解できた」「保護者がもっと勉強することが必要」「家庭でのルールづくりが必要」などの意見があり、「このようなセミナーを定期的で開催して欲しい」といった要望なども寄せられました。



講演する吉岡 良平 氏



盛況だったセミナー会場



スマホ展示・説明ブース